第 12 回アジア地域応用地質学シンポジウム
(The 12th Asian Regional Conference of IAEG)　開催概要

日本応用地質学会　国際委員会

※2019 年 7 月 23 日現在の情報でのまとめ

韓国でのアジアシンポジウムの開催は、2007 年にソウルで開催された第 6 回に続いて 12 年ぶりとなる 2 回目です。第 6 回 ARC は 200 人を超える参加者があり、日本からも 40 人以上が参加し多くの発表がありました。韓国応用地質学会の IAEG 活動はその後に停滞していましたが、2019 年が学会設立 30 周年ということもあって 2016 年あたりから再生し、IAEG 会員数も現在 125 名と活性化してきています。さらに、Kangwon 大学の Jang, Bo-An が 2019 年から IAEG のアジア地域副会長の一人となり、さらに勢い付いています。また、2024 年には釜山で第 37 回 IGC コングレスの開催が決まっています。

このような経過にあって第 12 回 ARC の準備には相当の力が入っていて、会場や巡検の内容については大いに期待できることから、日本応用地質学会の会員には積極的に参加をお願いしたいと思います。

なお、**シンポジウムの早期割引登録**および**海外調査団の募集は 7 月 31 日までとなっており、締切りが間近に迫っています。**若手会員や学生の皆様も奮って参加いただきたく思います（海外調査団の詳細はこちらをクリック）。

<ARC-12 概要>

主催：韓国応用地質学会(KSEG)，後援　IAEG

開催日程： 2019 年 9 月 23 日(月)～27 日(金)

9/23（月）	9/24（火）	9/25（水）	9/26（木）	9/27（金）
プレ巡検	開会式 基調講演 技術セッション	基調講演 半日巡検 懇親会	基調講演 技術セッション 閉会式	ポスト巡検

開催場所： 韓国、済州島(Jeju Island)

会場：Booyoung Jeju Hotel&Resort

https://www.booyoungjejuhotel.com/view/index.do?SS_SVC_LANG_CODE=JPN

案内ホームページ：http://www.iaegarc12.org

メインテーマ：Role of Engineering Geology for the Safe Society and Environment

（Topic）

1. Description and Behavior of Soils and Rocks
 - Soil mechanics, Rock mechanics
2. Analysis and Prediction of Geo-hazards
   2.1 Landslides and Debris flow
   2.2 Earthquake and faulting
   2.3 Land subsidence
3. Site Investigation, Ground Characteristics and Geophysical Exploration
4. Environmental Geology and Hydrogeology
5. Engineering Geology in Construction and Maintenance
 - Foundations, Tunnels and Underground Space, Slopes, Dams, Earth Structures
6. Application of New Technology in Engineering Geology
 - Remote Sensing, UAV, Terrestrial LiDAR etc.
7. High Resolution Site Characterization and Geophysical Exploration for Understanding the Fate and Transport of Contaminants in Subsurface Environments
8. Technical Committee Sessions
   8.1 C25 Engineering Geological Models
   8.2 C29 STRUCTURE AND BEHAVIOR OF SOIL AND ROCK MASS

<プログラム>

・9/24（TUE）

Time	B2			B1	
	Sapphire	Emerald～A	Emerald～B	Board～room～1	Board～room～3
09:30～10:00	Opening ceremony (Sapphire)				
10:00～11:00	Opening ceremony (Sapphire)				
11:00～11:30	Poster session / Coffee break				
11:30～13:00	Technical session (Geo-hazards I)	Technical session (Env. And Hydro. I)	Technical session (Application New Tech. I)	Technical session (Site Investigation I)	Technical committee C25 Session I
13:00～14:00	Lunch				
14:00～15:00	Keynote lecture 3, 4 (Sapphire) Prof. Ichikawa / Prof. Burns				
15:00～16:30	Technical session (Geo-hazards II)	Technical session (Soil and Rock I)	Technical session (Const. and Maint. I)	Special session I	Technical committee C25 Session II
16:30～17:00	Poster session / Coffee break				
17:00～18:30	Technical session (Geo-hazards III)	Technical session (Soil and Rock II)	Technical session (Const. and Maint. II)	Special session II	YEG Session

・9/25（WED）

Time	B2			B1	
	Sapphire	Emerald A	Emerald B	Board room 1	Board room 3
08:30～10:00	Technical session (Geo-hazards IV)	Technical session (Geo-hazards V)	Technical session (Const. and Maint. III)	Technical session (Application New Tech. II)	Technical session (Site Investigation II)
10:00～10:30	Keynote lecture 5 (Sapphire) Prof. Chigira				
10:30～10:45	Coffee break				
10:45～12:30	Technical session (Geo-hazards VI)	Technical session (Geo-hazards VII)	Technical session (Soil and Rock III)	Technical session (Env. And Hydro. II)	
12:30～18:00	Field trip				
18:00～20:00	Banquet				

・9/26(THU)

Time	B2			B1	
	Sapphire	Emerald A	Emerald B	Board room 1	Board room 3
08:30～10:00	Technical session (Geo-hazards VIII)	Technical session (Geo-hazards IX)	Technical session (Site Investigation III)	Technical session (Env. And Hydro. III)	
10:00～10:30	Poster session / Coffee break				
10:30～11:30	Keynote lecture 6, 7 (Sapphire) Prof. Wu / Prof. Jang				
11:30～13:00	Technical session (Geo-hazards X)	Technical session (Geo-hazards XI)	Technical session (Soil and Rock IV)	Technical session (Env. And Hydro. IV)	
13:00～14:00	Lunch				
14:00～15:30	Technical session (Geo-hazards XII)	Technical session (Const. and Maint. IV)	Technical session (Soil and Rock V)	Technical session (Application New Tech. III)	Technical committee C29 Session I
15:30～16:00	Coffee break / Poster session				
16:00～17:30	Technical session (Geo-hazards XIII)	Technical session (Const. and Maint. V)	Technical session (Soil and Rock VI)	Technical session (Application New Tech. IV)	Technical committee C29 Session II
17:30～18:00	Closing ceremony (Sapphire)				

<巡検>

詳細は http://www.iaegarc12.org/sub02/sub04.html よりご確認ください。

なお、海外調査団では 9 月 27～28 日にかけて、独自巡検・トレッキングを企画しております。

9 月 23 日（月）プレ巡検

①Jeju Geo-Trekking Tour（9:00～17:30　＄70.00）

大浦海岸柱状節理帯→天帝淵の滝→コッチャワル公園→水月峰（スウォルボン）→堂山峰（ダンサンボン）

②Jeju Samdado (Culture) Tour（9:00～18:00　＄70.00）

済州石文化公園→月汀里（ウォルチョンリ）海岸→済州海女博物館→城邑民俗村

③Geobrugg Systems in Jeju Tour（14:00～17:00　＄55.00）

シュリの丘→山房山

9 月 25 日（水）半日巡検

Jeju Geo-Park Tour（12:30～17:00　**無料・昼食付**）

山房山→龍頭（ヨンモリ）海岸

9 月 27 日（金）ポスト巡検

①UNESCO Natural Heritage Tour（9:00～18:00　＄75.00）

西帰浦層海岸（貝類化石）→天地淵瀑布→城山日出峰→万丈窟

②Jeju Culture Tour（9:00～17:30　＄75.00）

薬泉寺→海岸線ウォーキング（Olle Route 7）→茅島→西帰浦毎日オルレ市場→済州民俗村博物館

<参加登録>

http://www.iaegarc12.org/sub04/sub04.html よりオンラインで参加登録が可能です。
参加費は以下のとおりです。登録をキャンセルする場合、8 月 31 日までであれば全額払い戻しされます。9 月 1 日以降のキャンセルは返金不可となっています。

種類	Early Bird (6 月～7 月 31 日)	Standard / Onsite (8 月 1 日～)
一般	₩ 500,000 / $500	₩ 550,000 / $550
付添	₩ 200,000 / $200	₩ 250,000 / $250
学生	₩ 150,000 / $150	₩ 200,000 / $200

<アブストラクト>

アブストラクト募集は 5 月 31 日で締め切られました。
アブストラクトは、250 語以内の英語でテキストのみです。アブストラクト集は電子データで提供される予定です。
Full paper の提出は必要ありません（よって、論文集も作成されません）※。
査読結果は 6 月 15 日までにメールで通知されます。

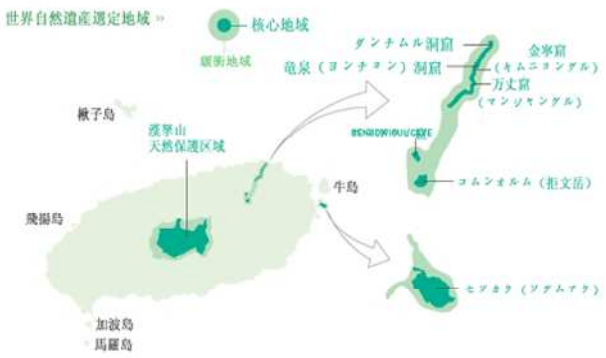
※アブストラクト投稿について（学生の方）
発表受付はアブストラクトのみですが、**学生の方の投稿については 4 ページの extended アブストラクトを後日受け付け、会誌に掲載するとの連絡が ARC-12 事務局からありました。**
学生の方で投稿を検討している方がいらっしゃいましたら、是非とも改めて周知をお願いいたします。
extended アブストラクトは後日、事務局に提出とし、まずは 5 月末までに 250 語以内のアブストラクトを web 上で申し込みとなります。

<宿泊>

シンポジウム会場である Booyoung Jeju Hotel&Resort のホテル宿泊予約が、12thARC ウェブサイトで 4 月から開始されます（詳細日時は後日公表されます）。特別価格での提供とのことですので、利用される方は早めの予約をお勧めします（スタンダードダブル・ツイン＄70.00～）。

また、会場周辺には上記以外にも多くのホテルがあります。海外調査団では、会場付近のよりリーズナブルなホテルを手配いたします。

<済州島について>



180 万年前から火山活動が始まり、島全体の 90 %以上が玄武岩で覆われた世界的な火山島。島の中心に位置する漢拏山（ハルラサン）は標高 1,950 m で韓国最高峰。島全体が、漢拏山山頂から周囲の全ての方向に流出した溶岩でできた巨大な楯状火山。2007 年に漢拏山天然保護区域、コムンオルム（拒文岳）溶岩洞窟系、城山日出峰の 3 地域がユネスコ世界遺産に登録。2010 年 10 月に済州島全域が世界ジオパークとして認定された。

成田空港からは約 2 時間 40 分、関西国際空港からは約 1 時間 40 分で到着できる。30 日以内の滞在かつ航空機や船が済州島に直接到着するものであれば、ビザなしで入国可能。

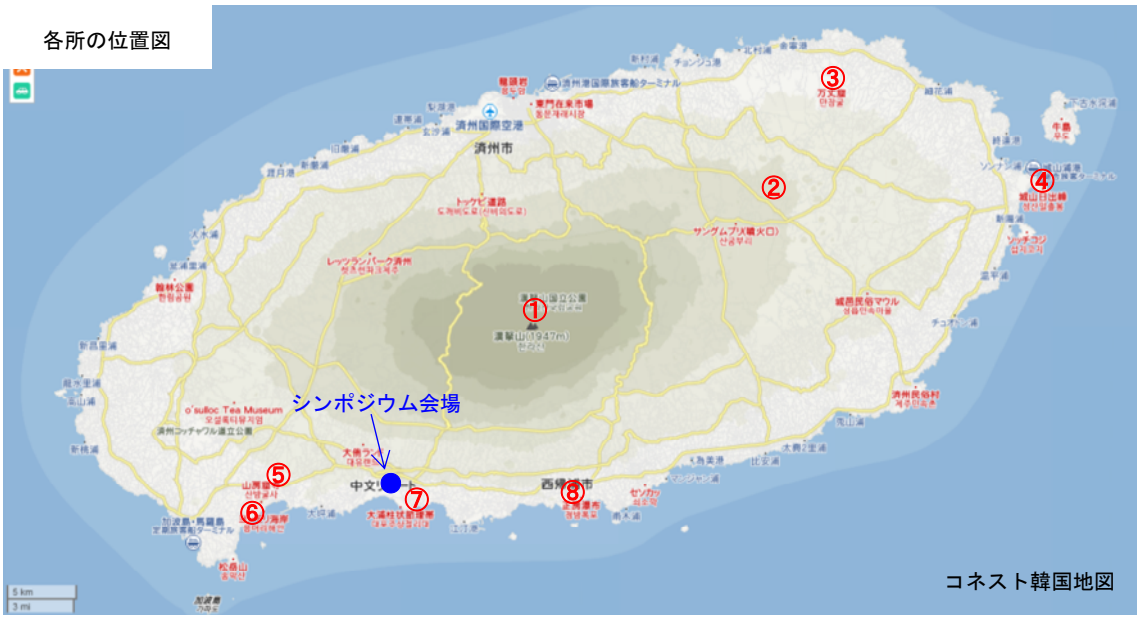
<代表的な名所>

①漢拏山国立公園 日帰りトレッキングも可能。ルートは複数あるが、立入制限の時間を守る必要がある。最も長いルート（観音寺コース）で片道 5 時間。	
②コムンオルム 456 m の小火山。トレッキングコースや世界自然遺産博物館もある。入山には事前予約が必要。	

③万丈窟（マンジャングル） コムンオルムの溶岩流により、約 30 万年～10 万年前に形成された世界最長の溶岩洞窟。全長 13.4 km のうち、見学できるのは約 1 km。	
④城山日出峰（ソンサンイルチュルボン） 10 万年前に海底火山が噴火してできた峰。タフコーンの代表的な地形で日の出のオルム（済州の方言で側火山のこと）で知られている	
⑤山房山（サンバンサン） 標高 395 m。済州島で最も大きい溶岩ドーム。	
⑥龍頭海岸（ヨンモリヘアン） 竜が頭を下げて海に飛び込む様子に似ていることからその名がついた。山房山の尾根が海岸の侵食作用を受けてできた海岸。	

⑦大浦海岸柱状節理帯（テポヘアンジュサンジョルリデ） 溶岩が海水によって冷却された柱状節理が見学できる。約 30～40m の柱状節理が海岸沿い 2 km に渡って続いている。	
⑧天地淵瀑布（チョンジヨンポッポ） 済州島 3 大瀑布の 1 つでアクセスが容易。高さ 22m、幅 12m、滝壺の深さは 20m で、「天地淵」とは、「空と大地が出会ってできた池」という意味。	
※番外編　　ジオフード ジオパークの地質的特性や文化をモチーフにして、地元食材を活用して作ったローカルフード。済州島の様々な観光地に、ジオフードを提供するカフェやレストランがある。	 山房山近くの「ウェンドゥグニ」が提供するジオフード 竜頭海岸の地層カステラ、ハモリ層火山弾クッキー、西帰浦層貝の化石型マドレーヌ

各所の位置図



参考文献・HP

長谷中ら（1998）：韓国，済州島の単成火山の地形学的特徴、東北アジア研究、第 2 号

韓国観光公社 HP　http://japanese.visitkorea.or.kr/jpn/index.jsp

済州観光公社 HP　http://www.ijto.or.kr/japanese/

韓国旅行「コネスト」HP　https://www.konest.com/contents/area_top.html?id=3